

Nguyen Thi Hong Chuyen 氏の学位審査結果の要旨

主査：野村 昌作

副査：伊藤 誠二、塩島 一朗

本研究では、サルコイドーシスにおける血清 sIL-2R の臨床的有用性が評価された。血清 sIL-2R 値の測定を行ったサルコイドーシス患者 72 名につき後ろ向きに評価した結果、血清 sIL-2R 値の平均値は 497 U/mL (354.6-847.5 U/mL) であり、正常範囲 (124-466 U/mL) より高値であった。また血清 sIL-2R レベルは、罹患臓器数と有意に相関し、3 つ以上の臓器に病変を持つ患者では優意に sIL-2R が上昇していた。また sIL-2R の値が高値を示す患者では皮膚症状が多発し、胸部 X 線上の異常や CRP、ACE、リゾチームの高値、より高い頻度での肺外疾患の出現がみられた。さらに sIL-2R レベルの変化が多くの症例において治療前後の臨床経過との間に相関性が認められた。以上の結果より、血清 sIL-2R のレベルは、サルコイドーシスの診断を支援するより感度の高いマーカーであると考えられた。本研究はサルコイドーシスにおける血清 sIL-2R レベルの臨床的有用性を見出した貴重な研究であり、学位に充分値すると判断した。